



第19回  
選抜高校女子サッカー大会  
「めめまカップ」in熊谷

大会キャッチフレーズ  
「つなげ！  
心のパス!!!」

3月25日～29日

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場ほか  
利根川総合運動公園サッカー場



◆スポーツ振興課  
市内線391

これからの、未来のなでしこ  
ジャパンを目指す女子高校生たち  
に、市民の皆さんの熱い声援  
をお願いします。

第19回「めめま  
カップ」in熊谷を  
3月25日～29日  
に、熊谷スポー  
ツ文化公園陸上  
競技場や利根川  
総合運動公園  
サッカー場等で開催しました。  
東北から九州まで、全国大  
会上位チームを含む48校が集  
い、埼玉県からも県立熊谷女  
子高校をはじめ7校が出場し  
ました。



**決勝戦**  
優勝  
常盤木学園高校(宮城県)  
0対0  
PK 3対2  
日ノ本学園高校(兵庫県)



第14回全国高等学校選抜  
ラグビーフットボール大会

3月30日～4月7日  
熊谷ラグビー場

第14回全国高等学校選抜ラ  
グビーフットボール大会が3  
月30日～4月7日に、熊谷ラ  
グビー場で開催されました。  
全国から32チームの強豪が  
集まる中、地元埼玉県からは  
深谷高校が出場しました。  
予選リーグを勝ち抜いた8  
校による決勝トーナメントの  
末、決勝戦は大阪桐蔭高校(大  
阪府)と東海大仰星高校(大阪  
府)の対戦となり、大阪桐蔭高  
校が初優勝を果たしました。



◆スポーツ振興課  
市内線391

この大会は、スポーツ拠点づ  
くり推進事業の認定を受けた全  
国65大会の中から特に優れた大  
会として「総務大臣・国民スポー  
ツ杯」を授与された大会でもあ  
り、全国の高校生ラグビーの憧れ  
の大会となっています。

これからの、高校生ラグビー  
の熱い戦いを盛り上げるため、  
市民の皆さんの応援をお願い  
します。



**決勝戦**  
初優勝  
大阪桐蔭高校(大阪府)  
33対14  
東海大学附属仰星高校  
(大阪府)

# 「暑さ対策」涼しさ体感アート事業

階段アート作品と協賛(掲載広告)の募集

企画課 TEL 内線528 Eメール kikaku@city.kumagaya.lg.jp  
〒360-8601 宮町二丁目4番地1



昨年の実施例

「暑さ対策」の取組みを来街者に対して広くアピールして、クールスポットの拡大にもつなげるため、熊谷・籠原両駅の階段へ「涼・水・青」をテーマとしたアートデザインを設置する「涼しさ体感アート事業」を実施します。

■応募作品 「涼」「水」「青」をテーマとした作品(絵画・CG・写真などのアート)

■応募資格 個人・団体問わず、どなたでも応募できます。

■応募方法 応募用紙ならびに応募作品をEメール、郵送、持参のいずれかで企画課(市役所3階)へ提出してください。

## 1. 階段アート作品の募集

※応募用紙は市ホームページまたは企画課にあります。

■応募締切 5月24日(金)必着

■作品展示期間 7月1日(月)～9月30日(月)

■作品展示箇所 熊谷駅正面口・南口(各1か所) 籠原駅北口・南口(各2か所)

※注意事項

- ・応募者多数の場合、展示作品を市で調整させていただきます。
- ・応募作品は、階段の形状により加工・修正する場合があります。
- ・階段の下部に企業等の協賛表示枠が入ります。(作品には重ならないよう配慮します。)



協賛表示の箇所(熊谷駅南口の例)

■協賛の方法および特典 涼しさ体感アート事業の趣旨にご賛同いただいた場合、特典として階段アート展示をする階段の一部に協賛表示枠を提供します。

※協賛表示枠の位置(段)は市で調整させていただきます。

※応募多数の場合は、表示枠を調整させていただきます。

■応募方法 協賛応募用紙を、Eメールにて企画課メールアドレスにあります。

※画像の入稿方法はイラストレーター形式を推奨します。

■応募締切 5月24日(金)必着

## 2. 協賛(掲載広告)の募集

エアコン消して涼しいところに集まろう



施設	協賛額	特典
熊谷駅南口階段	8万円/枠(最大5枠)	当該階段に設ける、協賛表示枠の提供(1段/1枠)
籠原駅北口(東側)	4万円/枠(最大3枠)	◎企業名、ロゴマーク等
籠原駅北口(西側)	4万円/枠(最大3枠)	◎協賛者による「暑さ対策」のメッセージも掲載できます。
籠原駅南口(東側)	4万円/枠(最大3枠)	
籠原駅南口(西側)	4万円/枠(最大3枠)	

## おたよりパレット

市報クイズ3月号で寄せられたご意見を紹介します。

### テーマ 「ゴールデンウィークの過ごし方」

気候のよいシーズンです。お出掛けもよし!お掃除もよし!とっておきのゴールデンウィークをお過ごしください。 ※おたよりパレットは、市ホームページでも更に詳しく紹介しています。 ▶http://www.city.kumagaya.lg.jp/

- 人混みが苦手な私はあえて外出せず、夏野菜の畑の準備や手料理を作り家族と過ごす時間を大切にしています。(30代・女性)
- 我が家では、ゴールデンウィークは毎年恒例の味噌作りです。大豆も自分の畑で獲れたものを使用します。私が幼い頃は近所で自家製の味噌を作る家が多かったのですが、年々減ってきました。買った方が安いし手間もかからないのですが、やはり手作りの味は格別です。(20代・女性)
- ゴールデンウィークは、天気によければお弁当を作って家族でピクニックに行きたいです。お弁当を食べたら、そのままお昼寝したいな。(30代・女性)
- 近場の温泉でのんびりしたいと思っています。(70代・女性)
- 熊谷の暑い夏に向けて半そでを出したり、冬物を片付けたり、衣替えをして過ごします。(40代・女性)



## 春の訪れ 元気に桜よさこい

4月7日、荒川公園をメイン会場に第5回くまがや桜よさこいが開催されました。総勢31チームが参加し、各チームの華やかな舞が披露され、観客も大喜びでした。



## にやおざねランドセルカバーをもらったよ

3月18日、市立荒川保育所で、新入学児童の登下校時の交通事故を防止する交通安全ランドセルカバーの贈呈式が行われました。4月から小学生になった皆さんが、このカバーをつけて、元気に通学しています。



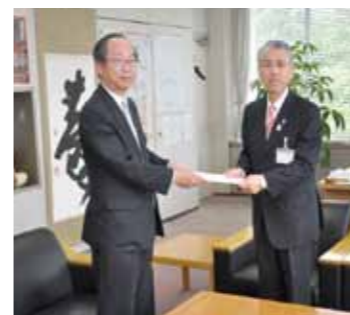
## 交通事故防止を! 出発式は華やかに

4月5日、江南総合文化会館ピピアで「春の全国交通安全運動出発式」が行われました。一日警察署長を2013年度ミス日本ファイナリストの安田衣里さんが務め、出発式に華を添えました。



## ムサシトミヨを保護する 4団体が喜びの報告

熊谷市ムサシトミヨをまもる会および市内3校(熊谷東中、佐谷田小、久下小)が行う保護活動が認められ「第14回さいたま環境賞」を受賞し、3月28日、市長に喜びの報告をしました。



## 秩父鉄道との 協定書締結

4月11日、秩父鉄道株式会社の大谷社長が市長室を訪れ、秩父鉄道新駅設置に関する調査業務の実施に関する協定書を締結しました。今後、秩父鉄道が主体となり新駅設置位置の検討や需要予測などの調査を行っていく予定です。

今月のテーマ、「あなたのこれという暑さ対策」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

### 応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「あなたのこれという暑さ対策」のコメントを必ず記入し、5月23日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。

※コメントがないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
☐ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者には月末頃にプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご使用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

3月号の正解 ①23 ②さくら ◆応募総数94通中、正解88通

### 応募方法

次の□に入ることばを、それぞれお答えください。

①麦翁(麦王)と呼ばれた権田□は麦の増産を決意し麦作りの改良に取り組み始めました。

②熊谷・籠原両駅の□へ涼しさを感じられるアートデザインを設置する「涼しさ体感アート事業」を実施します。

### 今月のプレゼント

熊たまやご提供の、「四〇・九度の麦畑」(熊谷うどん)を、正解者の中から抽選で10人に提供します。

所在地: 桜木町1-202-1 秩父鉄道熊谷駅改札口前  
電話: 048-521-8908

# フォト ニュース

Photo News



## 桜の下を駆け抜けました

3月24日、第23回熊谷さくらマラソン大会が開催されました。ちょうど見ごろをむかえた桜や菜の花を楽しみながら、ランナー達はそれぞれのペースでマラソンを楽しみました。



## 熊谷さくら祭は大盛況

桜の開花状況にあわせ3月23日から4月7日に開催され、多くの花見客で賑わいました。花見客は、満開に咲き誇る桜並木の下で思い思いに桜を楽しんでいました。

## 読んで当てよう 市報クイズ



市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 TEL 内線212までお問合せください。

# 夢 追い人

## 伝統を守り、そして伝えたい

畳職人  
石井朋昌さん(池上)



### 腕を磨いた修行時代

高校を卒業して18歳の時にこの仕事に就きました。祖父も父も畳職人でしたので、長男の私も三代目として跡を継ぐものだと思っていました。やるからには仕事を覚えて早く一人前になりたいという気持ちで一杯でした。ところが、職人の世界は甘くありません。先代からは、手取り足取り教えてもらえる訳でもなく、先代の仕事を目で

見て盗んで、腕を磨いて自分のものにするというのが基本です。現在は機械を使つて畳を作るのが一般的ですが、その当時はまだまだ手縫い一般的なものでした。一人前になるまでには10年位かかったかもしれません。

### お客さんの満足のために

この仕事で一番こだわっていることは寸法です。いくら良いものを作つても寸法が合わなければ駄目だと思つています。熟練している職人さんとうでない職人さんとはこういうところに差が出てくるものです。また、機械が主流の現在ですが、注文によっては機械では作れないものもあります。で、当然手縫いになります。手縫いになれば、やはり基本がないとやっていけません。何でも基本が大事ですね。修行時代に培った基本とこれまでに身に付けてきた知識や経験、そしてこの腕で、これからお客さんに満足してもらえらるような畳づくりをしていきたいですね。

### 伝統を若者に伝えたい

これまでの仕事が評価さ



体験授業での石井さん(左)

わつては、平成24年11月に厚生労働省から「現代の名工」として選出していただき、表彰を受けました。職人冥利に尽き、とても嬉しく、今後仕事をしたいく上でも励みになりました。しかし、現在の需要は減ってきています。市内の畳屋も昔と比べて半分減ってきました。もつと若い人に畳を含めて伝統的な技能に触れてもらおうと年に数回ですが、伝統技能の体験授業で県内の小・中学校を回っています。畳は日本の文化です。昔ながらの天然の草は香りがいいですよ。また、空気を浄化したり、湿気の調節もすると言われています。このような畳の魅力をもつと知ってほしいですし、これからも多くの人に伝えていきたいですね。

## 来て!見て!知って!文化財 平山家住宅 国内屈指の農家住宅

市内樋春地内の荒川右岸に位置している平山家住宅は、江戸中期に建てられた農家住宅で、昭和46年6月22日に国の重要文化財に指定されました。平山家は、旧樋口村で名主を務めた旧家であり、現在も屋敷周りに堀や土塁が残っています。建物は、桁行九間(東西方向の幅17.4m)、梁行六間(南北方向の幅11.9m)の入母屋造であり、茅葺の屋根を持つ平屋建ての構造です。文化財の民家住宅としては県内最大規模を誇ります。江戸時代から約10回の改修が行われていますが、昭和50年代に実施された保存修理工事によってかつての様式に復元され、現在に至っています。西・南面は大屋根の下方に庇を重ね、重い茅葺屋根を強固に支えています。これら

の庇は低く、東側では人間の肩に届くほどの高さです。吹き抜けの天井となる土間は、四十畳の広さがあり、そこにはカマドが築かれています。右手側には馬を飼うウマヤが設けられています。室内に露出した梁組の素材には、巧みに補整された赤松材などが用いられ、建築構造の緻密さと豪壮な外観が調和した建築物としては国内屈指の農家住宅です。現在では室内にてお茶会やコンサートも開催されています。



◆江南文化財センター TEL 048-536-5062

人口と世帯 ●平成25年4月1日現在(対前月比) ■人口 202,397人(-524) 男 100,852人(-336) 女 101,545人(-188) ■世帯 世帯82,233(+33)

「市報くまがや」5月号は、72,300部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。また、今月号から表紙等のデザインをリニューアルしています。

発行日 平成25年5月1日 ●発行 熊谷市  
編集 広報広聴課 〒360-08601 熊谷市富町二丁目47番地1  
TEL 048-524-1111(内線200) FAX 048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>